

家庭学習の手引き（1・2年）

さくらしりつあさくらしょうがっこう
桜井市立朝倉小学校

がくしゅうじかん
学習時間のめやす

1・2年生・・・20～30分

1・2年生のめあて

まいにちべんきょう
毎日勉強しよう！

小学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし・・・だと、どうなるだろう」「なぜ・・・なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことです。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身に付き、困難なことに出会ってもくじけないで積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生をこころゆたかに生きる力となって、将来への大きな財産になるのです。

家庭学習の手引きを活用して、家庭学習の習慣化を図っていきましょう。

1. 家庭で大切にしたいこと ～決まった時間に宿題をする習慣をつけるために～

① 長続きさせるポイント

- 学習を始める時間を決めましょう。
- 学習する場所を決めましょう。
- 机の上を整頓してから始めましょう。

② 家庭での援助

- テレビを消したりゲームをやめたりして、集中して学習できる環境を整えてください。
- 毎日、学校からの連絡帳やお便りなどを必ず確認してください。

③ 規則正しい生活と学力向上との関係

- 早寝、早起きをしましょう。
- 朝ご飯を必ず食べましょう。
- できるだけ朝の排便を習慣化しましょう。
- テレビやゲームは、時間を決めてしましょう。
- 自分で次の日の準備をしましょう。
(えんぴつをけずる。)

④ やる気を育てましょう！「ほめる、励ます、認める」

子どもは、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感を感じ、「家族に見守られている」という安心感の中で、自分らしさを努力することに自信をもつようになります。家族で会話する時間を大切に、小さなことでもほめ、成長を認めましょう。

2. こんなことをしてみましょう。【家庭学習（自主勉強）の内容】

こくご

- ・ きょうかしよを大きな声ですらすらと正しくよめるようにする。
 - ・ 「、」「。」「。」に気をつけてよむ。
- 〈ひらがなやカタカナ、かんじをかくとき〉
- ・ かきじゅんやもじのかたちにつけてかく。
 - ・ 正しいしせいで、ていねいにゆっくりかく。

さんすう

- ・ けいさんカードやけいさんドリルで、けいさんのれんしゅうをくりかえしする。
- ・ テストやドリルでまちがったもんだいは、もう一どやりなおす。

そのほか

- ・ たのしかったことやうれしかったことを、じぶんのことばでえにつきやにつきにかく。

家庭学習の手引き（3・4年）

さくらいしりつあさくらしょうがっこう
桜井市立朝倉小学校

学習時間のめやす

3・4年生・・・40～50分

3・4年生のめあて

自分から進んで、勉強しよう！

小学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし・・・だと、どうなるだろう」「なぜ・・・なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことです。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身に付き、困難なことに出会ってもくじけないで積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生をこころゆたかに生きる力となって、将来への大きな財産になるのです。

家庭学習の手引きを活用して、家庭学習の習慣化を図っていきましょう。

1. 家庭で大切にしたいこと ～自分から進んで宿題をしたり、自主勉強をしたりするために～

② 長続きさせるポイント

- 学習を始める時間を決めましょう。
- 学習する場所を決めましょう。
- 机の上を整頓してから始めましょう。

② 家庭での援助

- テレビを見たりゲームをしたりする時間を話し合っ決めて、約束事を守られるように根気強く声をかけてください。
- 毎日、学校からの連絡帳やお便りなどを必ず確認してください。

③ 規則正しい生活と学力向上との関係

- 早寝、早起をしましょう。
- 朝ご飯を必ず食べましょう。
- できるだけ朝の排便を習慣化しましょう。
- テレビやゲームは、時間を決めてしましょう。
- 家庭での役割を決めて取り組みましょう。
- 自分で次の日の準備をしましょう。

④ やる気を育てましょう！「ほめる、励ます、認める」

子どもは、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感を感じ、「家族に見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。会話する時間を大切に、小さなことでも見逃さずにほめ、分からないところは一緒に考えてあげてください。

2. こんなことをしてみましょう。【家庭学習（自主勉強）の内容】

国語

- ・ 場面の様子や登場人物の気持ちが伝わるように音読を工夫する。
- ・ 筆順や読み方、送りがなに気をつけて丁寧に漢字練習をする。
- ・ 習った漢字を使った熟語や短文を書く。
- ・ 漢字辞典や国語辞典を使って、漢字や言葉の意味を調べる。

算数

- ・ 教科書や計算ドリルで、計算の練習をくり返す。
- ・ まちがった問題は、教科書やノートを見て、もう一度やりなおす。

そのほか

- ・ 一日のできごとを思い出して日記や作文を書く。
- ・ その日に学習したことを教科書とノートをもう一度見て振り返る。
- ・ 興味のあることを自分で調べてみる。
- ・ 次の学習の予習をする。

家庭学習の手引き（5・6年）

さくらいしりつあさくらしょうがっこう
桜井市立朝倉小学校

がくしゅうじかん
学習時間のめやす

5・6年生・・・60～70分

5・6年生のめあて

自分から進んで、計画を立てて、
考えて勉強しよう！

小学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし・・・だと、どうなるだろう」「なぜ・・・なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことです。家庭学習を毎日続けることで、しっかりと考えた考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身に付き、困難なことに会ってもくじけず積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産になるのです。

家庭学習の手引きを活用して、家庭学習の習慣化を図っていきましょう。

1. 家庭で大切にしたいこと～自分から進んで計画を立てて宿題をしたり、自主勉強をしたりするために～

③ 長続きさせるポイント

- 学習を始める時間を決めましょう。
- 学習する場所を決めましょう。
- 机の上を整頓してから始めましょう。
- 目標をもち、学習の計画を立てましょう。

② 家庭での援助

- テレビを見たりゲームをしたりする時間を話し合っ決めて、約束事を守られるように根気強く声をかけてください。
- 毎日、学校からの連絡帳やお便りなどを必ず確認してください。

④ 規則正しい生活と学力向上との関係

- 早寝、早起きをしましょう。
- 朝ご飯を必ず食べましょう。
- できるだけ朝の排便を習慣化しましょう。
- テレビやゲームは、時間を決めてしましょう。
- 家庭での役割を決めて取り組みましょう。
- 自分で次の日の準備をしましょう。

④ やる気を育てましょう！「ほめる、励ます、認める」

子どもは、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感を感じ、「家族に見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。会話する時間を大切に、小さなことでもほめましょう。また、様々なことに挑戦させ、できなくても頑張る過程を温かく見守り励ましましょう。

2. こんなことをしてみましょう。【家庭学習（自主勉強）の内容】

国語

- ・物語の情景を思い浮かべながら朗読したり、短歌や俳句、古文を暗唱したりする。
- ・筆順や読み方、送りがなに気をつけて丁寧に漢字練習をする。習った漢字を使った熟語や短文を書く。
- ・漢字辞典や国語辞典を使って、漢字や言葉の意味を調べる。

算数

- ・手がかりとなる言葉や文章に線をひきながら教科書を読み、場面の様子や気持ちを考える。
- ・教科書の練習問題やプリントなどの問題に取り組む。
- ・教科書や計算ドリルで、計算の練習をくり返す。
- ・まちがった問題は、教科書やノートを見て、もう一度やりなおす。

そのほか

- ・一日のできごとを思い出して日記や作文を書く。
- ・その日に学習したことを教科書とノートをもう一度見て振り返り、ノートにまとめる。
- ・興味のあることを本や新聞、インターネットなどを使って調べ、まとめる。
- ・興味のある本を読んで、内容をまとめ感想文を書く。
- ・次の学習の予習をする。